

## 令和4年度 専門部会報告

部会名	中学校教育専門部会
-----	-----------

### 令和4年度 専門部会研修事業報告

- 【日時】2022年10月28日（金）広尾学園中学校高等学校（県外視察）
- 13：10～ 広尾駅集合・点呼
- 13：15～ 挨拶・自己紹介・講師紹介
- 13：25～14：10 学校見学・学校紹介
- 14：10～15：20 講話  
内容「学校改革と国際教育・サイエンス教育の実践から学ぶ」  
講師 広尾学園中学校高等学校 金子 暁 副校長  
質疑応答
- 15：30～16：20 ディスカッション
- 16：20～16：25 諸連絡・アンケート記入・閉会

#### 【講師プロフィール】

順心女子学園の頃からご勤務され、2007年の校名変更と共学化に合わせた広報戦略をご担当。その後、キャリア教育、ICT活用を推進、新設された教務開発部の統括責任者となられ、2017年から副校長として教育改革に取り組んでいらっしゃる。

#### 【研修目的】

最新のテクノロジーをベースとするICT環境、教育活動の高度化を目指すカリキュラムの革新などを手掛ける。最先端教育の現場での視察を通して、静岡県私学である私たちの学校で取り入れることができることについて考えるきっかけを作ることを目指す。

#### 【研修内容】

～校内見学～

本科コース・医進サイエンスコース・インターナショナルコース3つのコースに分かれて学ぶ生徒たちの日常の一部を見せていただいた。インターナショナルコースでは、国語、社会（古文や日本地理などの日本的な分野）以外は外国人の先生の英語での授業、医進サイエンスコースでは、中高生レベルをはるかに超えた研究活動を実施、生徒たちの学びたいことが実践できる環境が整っていた。

～講話～

2007年、共学化と学校名の変更などと共に、学校が変わっていった頃の広尾学園では何をしていたのか。当たり前のことを当たり前にやっていたという。例えば、以下のようなことが挙げられる。

① 教員がやりたくないことやる。

(評価やテストを教員自身は受けたくない→入試研修で、センター試験を解く→現在は、東大2次試験などを解くなど、レベルを上げている。)

② 入試研修や授業研修で自分たちの知識や授業をレベルアップ

③ 生徒たちをどういった方向でどういった目標に向けて始動するかを共有するためのコース会議

④ 説明会を変える

高度な教育との一致を見せる

(高度なサービス・高度な進学実績・高度な成長進化・高度な〇〇などと一致させる)

また、工夫した取り組みとして、以下のようなものが挙げられる。

・教務開発部という分掌で、ICT環境とキャリア教育を推進している。

・キャリア教育プログラムの充実を図るため、スーパーアカデミアという本物の経験を全コース中学1年生から参加させている。(希望制のものも含め、生徒が興味を持ちそうなものを多数用意)

・ICT環境と教育活動については、ICTは教科の成績を上げるものではなく、教育の可能性を広げるツールとして活用している。

例えば、医進サイエンスコースでは、日常の研究活動をベースとして高度な病理診断講座を実施。その後、順天堂大学医学部付属病院の手術に立ち会って実際の病理診断を経験する。そういった経験を参加高校生たちがDNA鑑定講座などでの中学生への指導を通じてフィードバックする仕組みも作られている。

今までの日本の学校活動は勉強と部活の枠の中で行われてきたが、これからの学校活動ではキャリアプログラムや研究活動などの学校内外での本格的で高度な活動を通してモチベーションが生まれ、時代に合った自然なテクノロジー (ICT) が生徒たちの活動の拡大を支えるという。

今回視察させていただいた広尾学園中学校高等学校では、生徒たちにとって良いチャンスと学べる環境を提供することができており、自分の探求したいことを追求することができる。静岡県の私学である私たちの学校でも、新しい発想で取り組める活動のヒントをいただくことができたと感じる。



校内見学の様子



講話中の様子